

年金基礎実務研修（基本編）

| | |
|-----------|--|
| 研修目的・ゴール等 | 年金にかかる基礎知識・実務知識・ノウハウ等を活用し、業務が実践できるようになる ・年金にかかる基礎知識・実務知識・ノウハウ等を理解し、説明することができる |
| 想定受講対象者 | 信用事業部門の担当者および新任管理者 |
| 適正人数 | 推奨：30名（上限：40名まで） |
| 研修日程 | 1日（9：30～16：30） |
| 研修講師 | 経済法令、農林中金アカデミー、服部年金 |

【研修プログラム】

| | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
|------|--------------------------------|--|------|----|--|----|----------|----------|
| 研修内容 | 事前課題問題の採点と解説 開講挨拶・オリエンテーション | 講義（演習問題を含む） ・老齢厚生年金 ・老齢基礎年金 ・公的年金の基本 *適宜休憩 | （昼食） | | 講義（演習問題を含む） ・練上げ、練下げの制度 ・在職老齢年金 ・障害年金 ・遺族年金 ・ねんきん定期便 ・年金手続き *適宜休憩 | | 理解度確認テスト | まとめ・閉講挨拶 |
| 時間 | 10 10 | 130 | 60 | | 180 | | 20 10 | |

| | | |
|------|----|------------------|
| 事前課題 | あり | ◇事前課題問題の実施（当日持参） |
| 事後課題 | なし | |

- ★ 本研修プログラムは、研修ゴールの達成に向けて、必要と認識した時間配分例。研修の開始時刻・終了時刻は、地域の実状等に応じて、適宜変更されたい。
- ★ 研修時間を延長する場合は、事前に講師と調整のうえ、適宜講義・ワーク等の拡充を検討されたい。一方、研修時間の短縮については、研修効果が低下するため推奨しないが、事情により短縮する場合は、原則30分以内までとし、事前に講師と調整のうえ、短縮を検討されたい（不明な場合等は、NCAまでご照会願いたい）。
- ★ 本研修プログラムは、年金基礎実務研修（基本編）のみ実施する場合の内容。年金基礎実務研修（応用編）を含めて2日間で実施する場合、本研修の学習項目や時間配分等が変更となるため、事前に講師に確認されたい。
⇒ 「公的年金の基本」の講義時間拡大、「在職老齢年金」・「障害年金」・「遺族年金」・「年金手続き」の講義繰り延べ（2日目に講義）、「演習問題」の追加・時間拡大、情報交換の設定等

年金基礎実務研修（応用編）

| | |
|-----------|---|
| 研修目的・ゴール等 | 選ばれ続けるJAになるために、年金にかかる基礎知識・実務知識・ノウハウ等を活用し、業務が実践できるようになる <ul style="list-style-type: none"> 年金にかかる基礎知識・実務知識・ノウハウ等を理解し、説明することができる 年金業務の実務対応に向けて、必要な行動を明確化することができる |
| 想定受講対象者 | 信用事業部門の担当者および新任管理者 (年金基礎実務研修（基本編）を受講済みの方) |
| 適正人数 | 推奨：30名（上限：40名まで） |
| 研修日程 | 1日（9：30～16：30、年金基礎実務研修（基本編）とセットで2日研修として実施することを想定） |
| 研修講師 | 経済法令、農林中金アカデミー、服部年金 |

【研修プログラム】

| | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | | | | |
|------|--|--|------|----------------------|----------------------|--------------|---|-------------------------------------|----------------------|----|----|---|
| 研修内容 | 開講挨拶・オリエンテーション 講義（演習含む） <ul style="list-style-type: none"> 在職老齢年金 雇用保険制度 | 講義（演習含む） <ul style="list-style-type: none"> 遺族年金 障害年金 | (昼食) | ケーススタディ①（年金計算とアドバイス） | ケーススタディ②（ねんきん定期便の活用） | ケーススタディ②（続き） | 講義 <ul style="list-style-type: none"> 年金手続き | ケーススタディ③（お客様への手続きアドバイス） 理解度確認テスト | 行動計画書の作成 まとめ・閉講挨拶 | | | |
| 時間 | 10 | 60 | 70 | 60 | 30 | 30 | 15 | 50 | 20 | 20 | 20 | 5 |

| | |
|------|----|
| 事前課題 | なし |
| 事後課題 | なし |

- ★ 本研修プログラムは、研修ゴールの達成に向けて、必要と認識した時間配分例。研修の開始時刻・終了時刻は、地域の実状等に応じて、適宜変更されたい。
- ★ 研修時間を延長する場合は、事前に講師と調整のうえ、適宜講義・ワーク等の拡充を検討されたい。一方、研修時間の短縮については、研修効果が低下するため推奨しないが、事情により短縮する場合は、原則30分以内までとし、事前に講師と調整のうえ、短縮を検討されたい（不明な場合等は、NCAまでご照会願いたい）。
- ★ 本研修プログラムは、年金基礎実務研修（基本編）を実施後、年金基礎実務研修（応用編）を実施する場合の内容。本研修を実施する場合、「基本編」の研修プログラムは学習項目や時間配等が変更となるため、事前に講師に確認されたい。
 ⇒ 「公的年金の基本」の講義時間拡大、「在職老齢年金」・「障害年金」・「遺族年金」・「年金手続き」の講義繰り延べ（2日目に講義）、「演習問題」の追加・時間拡大、情報交換の設定等